

本日執り行います社葬に臨んで、故〇〇君の御霊前に、謹んで哀悼の意を捧げます。〇〇君、君は、享年〇〇歳、卒然として我々の前から去られました。「人生は朝の露のごとし」とは言うものの、かかる前途ある人材を失ったことは、悲傷これにまさるを知りません。

これほど早く、君と再び会うことの出来ない日がくるとは、一体誰が予想したでしょう。君を失った損失の大きさは、残念とも無念とも言い様がありません。

君は我が〇〇にとつて、欠くことの出来ない社員の一人でありました。後輩諸君はもとより先輩にあたる人々からも、君の実績と見識は認められ信頼されていました。

思えば不可能と思われ、各社が手をつけなかつた〇〇開発も、君の強い意志と不撓不屈の行動で、わが社が他に先駆けて大きな業績を挙げることができました。これは、社内ばかりでなく、〇〇業者に於ても長く記憶に留められることでありましょう。

君が尊敬し協力を惜しまなかつた上司、手を取りあつて励んでくれた同期の人たち、また君の後に続く後輩たちは、君の残した愛社精神を引き継ぎ、今後の諸問題に対処し、難関を乗り越えていく覚悟を固めたに違いありません。

また御家族では、良き父、良き夫であつたかけがえない君を突然失つた御家族の御悲嘆はいかばかりかと拝察するだけに断腸の思いがいたします。御遺族の方々の今後の御相談役としては微力ながらも、私に出来る最善を尽したいと決意を致しております。願わくば、君も御家族の幸せ、特にご子息たちの将来を、静かなる世界から見守つていて、この悲しみを乗り越える力を授けてあげてください。

君の御霊前に立ち、心から今までのご苦勞に対し深い感謝を贈ると共に、ここに永別の言葉を述べさせていただく次第であります。

〇〇君、安らかなる眠りにつかれんことを。

平成〇年〇月〇日

〇〇〇〇株式会社

代表取締役 〇〇〇〇